

日本熱帯農業学会第132回講演会 公開シンポジウム

グローバル社会において 熱帯果樹が担う役割とは何か？

2022年 10月15日 土

開演 13:00 (受付開始12:00)

終演 17:00

<ハイブリッド開催>

会場 鹿児島大学農学部 農獣医共通棟101講義室 (座席数150席)

オンライン ZOOM (参加方法をお知らせしますので、10/12[水]までにお申し込みください)

プログラム

司会：山本雅史 (鹿児島大学 教授)

(1) 国内の亜熱帯地域における気候特性

紺野祥平 農研機構 果樹茶業研究部門 主任研究員

(2) 持続可能な開発の実現にむけた熱帯果樹の役割

福田聖子 日本大学生物資源科学部 専任講師

(3) 熱帯・亜熱帯果樹は酸性土壌での栽培に適しているか？

近藤友大 京都大学大学院農学研究科 准教授

(4) 我が国における熱帯果樹栽培

内野浩二 鹿児島県大隅地域振興局 果樹花き普及係長

(5) 南西諸島で見出されたパッションフルーツ奇形果の原因ウイルス

岩井 久 鹿児島大学 理事

コーディネーター：香西直子 (鹿児島大学 講師)

参加無料

どなたでもご参加
いただけます

会場でご参加の方へ

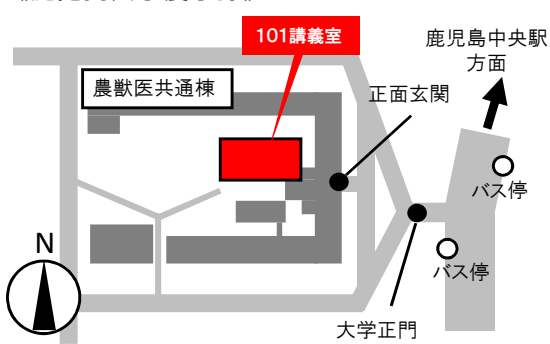
当日、受付に直接お越しください。構内の駐車場は利用できませんので、近隣のコインパーキング等をご利用ください。

オンラインでご参加の方へ

オンライン参加の方は、メールまたは右のQRコードからGoogleフォームにアクセスしてお申し込みください。(後日、メールにて参加方法をご連絡します。)



《鹿児島大学農学部》



問合せ先 (10/14まで)：講演会事務局シンポジウム係 (香西直子)
☎099-285-8552 ✉nkozai@agri.kagoshima-u.ac.jp

共催：鹿児島大学農学部
後援：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター